

京の五節句と年中行事

七夕の節句展



七月七日は、五節句のひとつ「七夕の節句」です。

五節句は、一月七日(人日)、三月三日(上巳)、五月五日(端午)、七月七日(七夕)、九月九日(重陽)の五つの節日のことです。古来、陽(奇数)が重なると陰が生ずるとされ、節句の日には邪気祓いの行事が行われてきました。

「七夕の節句」の由来は、機を織り、祖霊に捧げる日本古来の行事「棚機(たなばた)」と、中国から裁縫や習字の上達を星に祈る「乞巧奠(きっこうてん)」の習わしが伝わり、結びついたといわれています。織姫と彦星の逢瀬と詩歌・裁縫などの上達を願って星に祈りを捧げ、五色の糸などを供えました。また、梶の葉に和歌をしたためました。これが笹飾りのはじまりといわれています。

本展では、梶の葉と笹飾り、近衛家から宮中に献じられたという七夕花扇、五色を表現した西陣織や伝統を現代にいかした和傘、和琴・琵琶の楽器などを上京区にゆかりのある方々の協力を得て展示します。脈々と受け継がれてきた京の歴史や文化をぜひご覧ください。

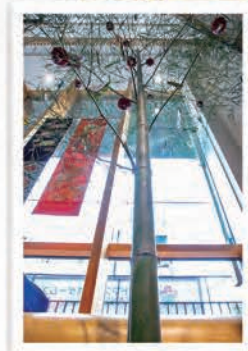
主催 上京ふれあいネット運営協議会

協力 いけばな嵯峨御流 石川 利佳甫 教授、株式会社日吉屋、国定織物株式会社、有限会社テラヲ貸物店、株式会社鳥羽屋、Art Gallery be京都

日時 令和6年7月2日(火)～5日(金) 午前9時～午後5時

場所 上京区総合庁舎1階 区民交流ロビー

問合せ 上京区役所 地域力推進室(企画担当) 電話 075-441-5029
FAX 075-432-0566



短冊のはじまり 梶の葉飾りを作ろう!

日時 令和6年7月5日(金) 午後2時~午後3時

場所 上京区総合庁舎4階 大会議室

対象 上京区在住の方

※小学生以下の方は、保護者の同伴が必要です。

内容 七夕の節句展に合わせた梶の葉飾りの制作

講師 いけばな嵯峨御流 石川 利佳甫 教授

定員 10組(1組3名まで、先着順)

参加料 無料

申込み 6月21日(金)から28日(金)午後5時まで、
ホームページ(申込フォーム)又は電話でお申し込みください。

申込みの際に、①氏名(ふりがな)、②住所、③電話番号、
④同伴者人数(2名まで)、⑤同伴者のうち小学生以下の
子どもの人数をお伝えください。

※墨を使いますので、汚れてもいい服装でお越しください。

主催 上京ふれあいネット運営協議会

問合せ 上京区役所 地域力推進室(企画担当) 電話:075-441-5029 FAX:075-432-0566



七夕MEMO

京都の七夕と梶の葉

江戸時代の文献によると、京都では、七夕に小さな提灯、短冊、梶の葉をたくさんつけた笹を川へ流そうとしている様子が描かれており、京都の七夕は多くの人々に親しまれていたことがうかがえます。

里芋の葉は天の川の雫の受け皿といわれていて、七夕には、その雫を集めて墨をすり、筆で梶の葉に和歌や文字を書いて習字や機織り、手芸の上達を願いました。

